

栃木県監査委員告示第6号

地方自治法（昭和22年法律第67号）第199条第12項の規定に基づき、栃木県知事、栃木県教育委員会及び栃木県公安委員会から、監査の結果に基づき措置を講じた旨通知があったので、同項の規定により、次のとおり公表する。

平成31（2019）年4月2日

栃木県監査委員 池田 忠
 同 日向野 義幸
 同 金井 弘行
 同 平野 博章

監査の結果の措置状況

| 監査対象機関名 | 監査年月日 | 監査の結果 | 講じた措置 |
|----------|-----------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|
| 東京事務所 | 平成30（2018）年 11月16日 | 契約検収事務のうち、予定価格が100万円を超える手数料（借上公舎に係るハウスクリーニング）の執行において、競争入札とすべきであったにもかかわらず、1者から見積書を徴収し、随意契約の方法により契約を締結していた。 | 契約検収事務に係る法令・規則等について、職員一人ひとりが理解を深めるとともに、チェック体制を強化し、適切な予算執行に努めます。 |
| 県南児童相談所 | 平成30（2018）年 10月30日 | 契約検収事務のうち、予定価格の総額が160万円を超える新庁舎用備品の購入において、一括発注し、競争入札とすべきであったにもかかわらず、設置場所ごとに分割して発注することにより、随意契約の方法により契約を締結していた。 | 契約検収事務に係る法令・規則等を理解・遵守するとともに、チェック体制を強化し、経済性・効率性を考慮して適切な予算執行に努めます。 |
| 宇都宮土木事務所 | 平成31（2019）年 1月18日 | 工事事務のうち、28年災害復旧事業費（補助）に係る護岸工事の設計積算において、根固めブロック工に係る作業土工を埋戻しで積算すべきところ、誤って、路体（築堤）盛土を適用したことにより、設計額が過大となっているものが1件367千円あった。 | 設計積算に当たっては、適用する積算基準に基づき適正に計上されるよう、現地状況の把握を十分に行うとともに、きめ細かな検算の実施、チェック体制の強化を図るなど再発防止に努めます。 |

| 監査対象機関名 | 監査年月日 | 監査の結果 | 講じた措置 |
|---------|-----------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|
| 真岡土木事務所 | 平成 31 (2019) 年 1 月 15 日 | 工事事務のうち、街路づくり事業費（補助）に係る電線共同溝工事の設計積算において、市街地補正区分の適用を誤ったことにより、設計額が過小となっているものが 2 件 5,400 千円あった。 | 設計積算に当たっては、適用する積算基準に基づき適正に計上されるよう、工事費積算チェックリストを改訂し積算体制及び検算体制の強化を図るなど、適正な事務執行に努めます。 |
| 栃木土木事務所 | 平成 30 (2018) 年 12 月 18 日 | 委託事務のうち、砂防施設づくり事業費（補助）に係る地質土質調査業務委託の設計積算において、ボーリングマシンの現場内小運搬等の費用の計上を誤ったことにより、設計額が過大となっているものが 1 件 108 千円、過小となっているものが 2 件 54 千円あった。 | 設計積算に当たっては、適用する積算基準に基づき適正に計上されるよう、設計書に根拠資料を添付するなど、きめ細かな検算の実施、チェック体制の強化を図り、再発防止に努めます。 |
| | | 委託事務のうち、道路保全事業費（県単）に係る街路樹管理業務委託の設計積算において、高木伐採工に係る枯木処理の単価を誤ったことにより、設計額が過大となっているものが 1 件 421 千円あった。 | 設計積算に当たっては、単価誤りのないよう、参考資料の該当箇所を明示するなど、きめ細かな検算の実施、チェック体制の強化を図り、再発防止に努めます。 |
| | | 工事事務のうち、快適で安全な道づくり事業（補助）に係る調整池工事の設計積算において、土砂の運搬距離区分を誤ったことにより、設計額が過大となっているものが 1 件 777 千円あった。 | 設計積算に当たっては、適用する積算基準に基づき適正に計上されるよう、設計書に積算基準書の該当箇所を添付するなど、きめ細かな検算の実施、チェック体制の強化を図り、再発防止に努めます。 |

| 監査対象機関名 | 監査年月日 | 監査の結果 | 講じた措置 |
|----------|------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 矢板土木事務所 | 平成 30 (2018) 年 11 月 20 日 12 月 20 日 | 契約検収事務のうち、自家用電気工作物保安管理業務に係る委託契約において、正規の契約書のほかに電気事業法の規定に基づく申請用として、適正な事務手続を経ずに契約書を作成していた。 | <p>正規の契約書に電気事業法の規定に基づく申請に必要な項目を追記する変更契約を締結するとともに、同法の規定に基づき、委託契約の内容変更届書を提出しました。</p> <p>さらに、申請用として作成した契約書については、契約相手方と協議の上、無効である旨合意し、契約書の一本化を図りました。</p> <p>また、今後の再発防止に向け、検証を行い、1 月 30 日に所内職員に対して実務研修会を行いました。</p> |
| 大田原土木事務所 | 平成 30 (2018) 年 11 月 27 日 | 工事事務のうち、快適で安全な道づくり事業費(補助)に係る浸透池設置工事の設計積算において、コンクリートブロック積工の施工規模加算の適用を誤ったことにより、設計額が過大となっているものが 1 件 1,306 千円あった。 | <p>設計積算に当たっては、コンクリートブロック積工の施工規模の適用条件等を適正に確認すべく、所内の設計積算チェックリストを改訂し、積算検算体制の強化を図りました。</p> <p>また、所内の技術調整会議で周知徹底を図り、適正な事務執行に努めます。</p> |
| 安足土木事務所 | 平成 31 (2019) 年 1 月 22 日 | <p>用地事務のうち、快適で安全な道づくり事業費(補助)に係る「物件移転等通常受ける損失補償」の契約の締結において、物件所有者の押印を受けた損失補償に係る契約書を、長期間、適正に処理せず放置していたものがあった。</p> <p>また、本件が発覚した際、移転補償すべき物件が既に撤去され存在していなかったにもかかわらず、補償金として支出するために、不適切な契約を締結していた。</p> | <p>不適切な契約については、本年 2 月 8 日に相手方と覚書を締結し是正しました。</p> <p>また、適正に処理せず放置された件については、今後の再発防止に向け、各段階ごとに問題点を検証した上で再発防止策を策定し、部課長会議等を通じて所内職員に周知徹底を図りました。</p> |

| 監査対象機関名 | 監査年月日 | 監査の結果 | 講じた措置 |
|----------------|-----------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 下都賀教育事務所 | 平成 31 (2019) 年 1 月 25 日 | 給与事務のうち、期末手当及び 勤勉手当において、在職期間等 の算定を誤ったことから、支給 不足となっているものが 1 件 320,816 円あった。 | 支給不足分については、速やか に追給処理しました。 今後は、再発防止対策として、 複数の職員による確認作業を 行う等チェック体制を強化す るとともに、管内の小中学校に 対する研修会や事務指導を実 施する際に周知徹底を図り、適 切な事務執行に努めます。 |
| わかくさ特別支援 学校 | 平成 31 (2019) 年 2 月 25 日 | 委託事務のうち、特別支援学校 運営費に係る消防設備保守点 検業務委託の設計積算におい て、一部の設備に係る費用の計 上を誤ったことにより、設計額 が過大となっているものが 1 件 567,432 円あった。 また、予定価格が 100 万円を超 えていたにもかかわらず、特段 の理由もないまま、随意契約に より契約を締結していた。 | 設計積算に当たっては、細心の 注意を払い算出します。 また、地方自治法等の法令・規 則等を理解・遵守するととも に、複数の職員による確認を行 う等チェック体制を強化し、適 切な事務執行に努めます。 |
| 那須特別支援学校 | 平成 30 (2018) 年 11 月 27 日 | 給与事務のうち、住居手当にお いて、定期異動に伴う給与情報 登録内容の確認を怠ったため、 支給不足となっているものが 1 件 189,000 円あった。 | 支給不足については、速やかに 追給の処理を行いました。 今後は、事務担当者及び出納員 によるチェックにより再発防 止を徹底し、適正な事務執行に 努めます。 |
| 下野警察署 | 平成 30 (2018) 年 10 月 30 日 | 給与事務のうち、勤勉手当にお いて、基準日以前 6 か月の全期 間にわたって勤務した日がない 場合には、その全期間を除算 することとなっているが、育児 休業期間のみを除算したこと から、過支給となっているもの が 1 件 145,173 円あった。 | 過支給分については、速やかに 返納処理を行いました。 今後は、再発防止のため、确实 に複数人による確認を行うこ とによりチェック体制を強化 し、適正な事務執行に努めま す。 |